

長泉寺

〒700-0807
岡山市北区南方3丁目10番40号
TEL (086) 223-7450
FAX (086) 221-0302
振込 岡山 01250-6-6418
ホームページ www.chosenji.net

長泉寺だより 第349号

ハバク

パリ五輪の開幕直前、女子体操選手が十九歳で喫煙、飲酒をし、「辞退」ということではあるが事実上の五輪出場停止処分となった。

五輪と言えばスポーツ選手の夢であり、それを目前に控えた選手にとってはは全てと言って良い。そのため、ルール違反をしたとはいえ長年努力を重ねてきた彼女から五輪の出場権を奪ってしまうのは「不寛容」だという声が噴出。他方で、二十歳未満の喫煙、飲酒は違法であり、五輪選手に相応しくないという厳しい意見もあって、世論は二分した。

私はというと、「不寛容」だと感じた一人である。ただし、JOC（日本オリンピック協会）

不寛容

ひともし

の判断に対してではない。同議論をめぐる世間の言葉に対してそう強く感じたのである。

彼女を長年観察し、彼女に最も期待をしていたJOCが下した判断なのだから、それ自体は尊重するほかない。一方で、未だ十九歳の若者をルールを守れない犯罪者だと切り捨て、JOCの決定をただ称賛するだけの大人達には、不寛容を超えて病的な怖さすら感じてしまう。

人間は皆、不完全な存在である。過ちを犯してしまった若者へどのような言葉をかけるのか。大人ならばよくよく考え、慎重に言葉を選ぶべきであろう。JOCの決定に賛意を示すのなら、せめて彼女へ「応援しているよ。」という一言くらいは付け加えて欲しい。(龍)

申込みは8月19日まで!

ご先祖 萬霊供養

ぎょう

おせがき行

貸切バスで行く日帰り旅

8月19日(土)朝7時 長泉寺出発

本年の「おせがき行」は、西日本豪雨災害で被災されながらも、本年5月に新本堂を落慶された真言宗御室派十夜ヶ橋永徳寺(愛媛県大洲市)様へお参りし、ご先祖・萬霊に廻向する施餓鬼供養法会を奉修します。併せて、「伊予の小京都」と呼ばれる城下町「大洲街」を散策いたします。

別紙ご案内用紙をご記入の上、お申込み下さい(参加費 10,000 円/廻向塔婆供養代 1,000 円也)。

夏まつり協賛金ご芳名

順不同 敬称略

原田清子 福本伸一 妹尾政典
 奥昭恵 難波治子 難波克仁
 難波みゆき 浮田當枝 村松律子
 田井万代 安宅大祐 富田薫
 渡邊進 渡辺秀明 間健一
 西尾新一 家守徑子 高杉泰彦
 佐藤恭子 岩見徹 白神勝彦
 行本美子 谷佐田正人 草地幸子
 源根秀実 服部政子 蛭田利夫
 北川喜信 丸山幸男 石原縉吾
 田中幸治 土松良一 浜本忠義
 中川美代子 牧村秀章 川西豊子
 人見和幸 人見雅子 人見友佳子



人見禎昭 人見紗波 人見裕晴
 酒井勉 信部淳子 埤和健
 富田英行 稲田公子 時吉正志
 寺岡敬 福原貞子 清水恭子
 万代弘 中村久美子 長江志満子
 石村学 笹山善男 穂田哲也
 松田恭子 有松達朗 高田聖三
 朝森要 則兼秀雄 馬場一正
 石原布美子 宮本伸一 田原義夫
 木下一男 前原肇 齋藤忠正
 本田君子 定清 勇 近藤正一
 沖田武司 川崎渡 福池忠重
 久住桂子 中村希典 杉山花子
 田中強 木内武治 下石八重子
 西岡昭恵 中岡光夫 井上正美



村田昭功 田中瑞穂 田中友子
 湯之上良光 西方邦春 佐々木英代
 福見緑 田渕和邦 中西健嗣
 徳森康子 中塚房子 仲田知行
 松本友宏 遠藤明美 越田美幸
 伊達浩子 小西武 小西晴子
 大西緑 伊賀禮子 小原洋美
 山脇孝夫 浮田浩自 村田信子
 登尾美行 川上節夫 眞部晃
 有松絹子 有松啓介 本城園子
 伊藤圭子 田邊善治 香川和道
 乾義之 川合愛子 小川孝雄
 安田純三 小林茂徳 寺村昭子
 丸山順恵 金田勉 二宗輝明
 西山由美 浦上洋 重藤美代子

長畑珣子 大橋千代子 速水睦枝
 千葉義明 杉山嘉和 安田洋子
 松田寿美子 神原晶一 山本弘敏
 加藤知子 野村和江 安井和子
 大内浄 畑井正勝 玖村勝
 美濃允子 矢吹哲男 多田章利
 島本昭子 福原強 山下弘子
 武元幸子 江口功 橋本時夫
 鈴木道子 小林志保子 岡千代子
 重定勝文 浅尾むつ眸 山田紀香
 田口茂 丸山惣一 四宮満子
 上村達也 岡田和子 町田侃
 金井勇 三宅隆士 秋庭隆志
 内藤路子 福間温美 萱原重子
 河村徹也 工藤恭子 谷口哲郎
 三宅恒夫 東泉藤夫 山下日出夫
 浮田次郎 丸山貴子 中川潤二
 奥田千鶴子 (株)池田動物園
 匿名1名

合計 一八一名

金額 八一、〇〇〇円

七月末日現在

皆様からの御志に対し、
 心より厚く御礼申し上げます。

長泉寺

青葉まつり

毎年六月十五日、高祖弘法大師のご誕生を慶祝する「青葉まつり」は今年、葵町常福寺を会場に、参拝者皆様に御宝号「南無大師遍照金剛」の深い意味を学んでいただくための特別法会という形で奉修いたしました（主催：岡山市弘法大師降誕会 事務局：当山内）。

ご参拝いただいた皆様には、ありがとうございます。



長泉寺合唱団ナーガ ハートフルコンサート



七十九回目の岡山空襲忌を迎えた六月二十九日、当山本堂に於いて長泉寺合唱団ナーガによる「ハートフルコンサート」を開催しました。

おかげ様で一〇〇名近くもの地域の方々にご来場いただき、皆様とともにナーガの歌声を通じて戦没者精霊を追悼し、平和の尊さを心で感じる素晴らしい時間となりました。ありがとうございました。

寺子屋文化講座

第四十六回寺子屋文化講座は六月十一日、元県立博物館学芸員で、現在は長島愛生園歴史館の学芸員である木下浩先生より「一五〇年前の岡山の感染症」というご講演をいただきました。（参加約三十名）。

現在もコロナやインフルエンザで苦労することの多い感染症問題ですが、岡山は明治、大正、昭和と肝臓ジストマ、肺ジストマ、日本脳炎などが流行し、「風土病のメッカ」と呼ばれるほどだったそうです。木下先生は、当時の岡山の被害状況から克服へつながる歴史について、詳しく解説下さいました。



木下 浩 先生

ご詠歌巡礼



屋島寺（高松市） 令和6年7月2日

長泉寺ご詠歌会は、月に一回ほどのペースで近県にあるお寺へお参りする「ご詠歌巡礼」を実施しています。

七月二日には、四国霊場第八十四番札所の屋島寺（香川県高松市）、および同八十六番札所の志度寺（さぬき市）を巡拝。各寺院の本堂でご詠歌を奉納したほか、お昼には美味しい讃岐うどんをいただき、楽しい参拝となりました。

ご詠歌に興味のある方、私も一緒に巡拝に行きたいという方には、お気軽にお問合せ下さい。

令和6年度

檀信徒総代会総会

長泉寺第十六期檀信徒総代会（総代長岩見徹氏）は、六月二十八日に今年度総会を開催。昨年度の事業、決算、および監査の報告がなされ、さらには今年度の方針、事業計画等が審議されました。

議長に岩見総代長が就き、龍門住職からの各種報告、説明などを経て、諸議案は提案通りに可決されました。

第十六期長泉寺檀信徒総代会

役員

| | | |
|------|-------|------|
| 総代長 | 岩見徹氏 | 谷万成 |
| 副総代長 | 丸山惣一氏 | 竹田 |
| 総代 | 金田勉氏 | 内山下 |
| " | 多田章利氏 | 津島新野 |
| " | 浦上洋氏 | 足守 |
| 会計監査 | 田口茂氏 | 新屋敷町 |
| " | 有松啓介氏 | 西川原 |

岡山空襲忌平和祈願法要

岡山市仏教会

岡山市仏教会は、岡山空襲遺族会との共催で毎年六月二十八日に「平和祈願法要」を奉修しています。

本年も同日、日蓮宗蓮昌寺様のご本堂に於いて、宗派の違いを超えて合同の祈りが捧げられました。

亡くなられた方々を悼み、国際平和を祈願するところひたすらでございます。

光研名誉住職 中国洛陽白馬寺訪問



光研名誉住職は、7月14日から5日間、岡山市との友好姉妹都市である中国洛陽市へ出向き、当山との長年の法友関係にある白馬寺、龍門石窟等を訪問しました。

詳しくは、次号いつみにてご報告させていただきます。

日本清酒の源流をたどる

菩提山正暦寺 天野山金剛寺 参拝

11月16日(土)～17日(日)

室町時代に真言僧侶によって開発された日本清酒。その発祥地である「菩提山正暦寺(奈良市)」、並びに当山とも法縁があり、僧坊酒「天野」を生んだ「天野山金剛寺(河内長野市)」を巡拝します。費用、旅程詳細などについては追ってお知らせいたします。

主催 長泉寺杖心会

長泉寺の縁日法会

毎月8日10時～ 本尊縁日法会
法話/写経

21日10時～ 大師縁日法会
法話/写経/空海プログラム(法話)/お接待

28日10時～ 不動縁日護摩供
必生不動明王護摩供養/不動真言念誦行

今回は、前回に続き長泉寺の本山・御室仁和寺の歴史（後編）をご紹介します。

仁和寺の法灯

仁和寺が最盛を誇った平安時代後期から鎌倉期にかけて、その一帯には七十を超える院家が林立しました。院家とは、御室（法親王）をはじめ仁和寺に関わる僧侶のための分院で、住房としての機能だけでなく、それぞれが独自の本尊、建造物、寺宝を有し、真言密教の法流を護持、発展させました。

そもそも弘法大師によって大成された真言密教は、お大師様の弟子である実慧大徳、および真雅大僧正より源仁僧都へと継承され、そこから本覚大師益信へと伝わった「広沢流」と、理源大師聖宝へと伝わった「小野流」に分かれます。仁和寺第一世宇多法皇は、広



孔雀明王像 仁和寺蔵 国宝

沢流の祖である本覚大師より真言密教を相承され、その法流は仁和寺寛空僧正、同寛朝大僧正、同済信大僧正へと受け継がれ、さらには仁和寺第二世大御室性信親王、寛助大僧正へと師資相承されていきます。

このあたりから院家それぞれに法流は枝分かれし、広沢方だけで六流、小野方や高野山（中院流）、さらには新義真言宗を開かれた興教大師覚鑿上人などの法流を含めると実に三十六流と言われほどに広がりました。平安期から鎌倉期にかけて、真言密教は相乗的に専門研究が進み、その内容を研ぎ澄

ましていくのでした。

他方、ときの天皇と親子、あるいは兄弟という関係性であった仁和寺門跡は、真言宗長者（宗の最高位）よりも高位の存在として時代に君臨するところとなっていました。天皇に成り代わって鎮護国家、玉体安穩の法を修することで、天皇の宗教的分身として絶大な影響力を誇ったのです。

特に、天変地異や外敵襲来から国家を護り、皇室の安産成就子孫長久にも靈験あらたかなる「孔雀経法」は、仁和寺門跡によって頻繁に修され、その法力をいかに発揮しました。国家にとって仁和寺は、極めて重要な存在となったのです。

応仁の乱

さて、このように仏法の威光を輝かせた仁和寺ですが、最大

の転換期となったのが室町時代、「応仁の乱」です。

京の都を戦場とした東西両軍の戦いのさなか、仁和寺一帯もその戦火に巻き込まれてしまい、堂塔はすべて焼亡。幸いにも仏像や經典などの寺宝類は双ヶ丘西麓の院家「真光院」へ移されましたが、そこから約一五〇年もの間、仁和寺は本来の伽藍を失ってしまったのです。

境内が再建の途に就いたのは江戸時代初期、仁和寺第二十一世後南御室覚深法親王のときです。

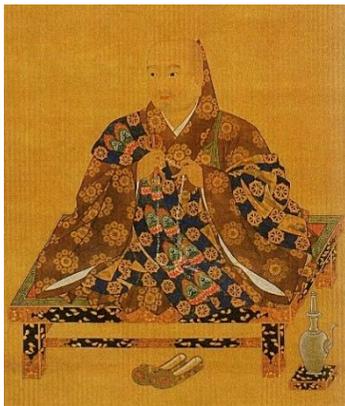
覚深法親王とは、後陽成天皇の第一皇子で、六歳で「良仁親王」として親王宣下を受け、時期天皇として将来を嘱望される御仁でした。しかし、徳川幕府からの圧力によって弟である政仁親王（後の後水尾天皇）が皇位を継承され、ご本人は真光院へご入室されることになりました。

朝廷と幕府の対立

ときは豊臣秀吉の天下統一から徳川家康による江戸幕府開闢にいたる激動の時代です。

朝廷と幕府は微妙なバランスで力関係を保っていましたが、秀吉が亡くなり、関ヶ原の戦いを経て家康が征夷大將軍となった後は、朝廷は幕府から様々な干渉を受けるようになりました。

特に寛永四年（一六二七）の「紫衣事件」は重要です。朝廷には、高位の僧侶へ紫の衣を授与するという慣習があったのですが、宗教界の統制を理由に慶長二十年（一六一五）、幕府はこれを禁止。ところが後水尾帝は過去の慣習としてそれを実施



覚深法親王像 仁和寺蔵

され、朝廷と幕府との間に激しい対立が起りました。後水尾帝は大変ご立腹され、この事件をきっかけに第二皇女である明正天皇へ突如讓位をされるにいたりました。

覚深法親王

寛永十一年（一六三四）、仁和寺門跡覚深法親王は、ときの將軍徳川家光が上洛した際に二条城へ出向かれ、伽藍を失っている仁和寺に対し御所の紫宸殿や清涼殿などの殿舎を譲るよう家光に求められました。

後水尾帝の実兄である覚深法親王は、幕府が朝廷との関係を修復したいと考えていること、御所の殿舎が改築時期を迎えていることなど、政治的な内情をよく汲んだ上で將軍家光に申し出ていらつしやるはずで、覚深法親王にしかできない大変お見事なる振る舞いと言えます。



仁和寺金堂（旧紫宸殿） 国宝

旧御室御所としての今

それから時代が下り、安政五年（一八五八）に鳥羽伏見の戦い（戊辰戦争）が始まると、第三十世 純仁法親王が還俗され、仁和寺宮嘉彰親王（後の小松宮章仁親王）となりました。

以来仁和寺は、皇族が御室を継ぐことはなくなりましたが、門跡を仰ぐ寺院の中でも最も格式の高い筆頭門跡寺院として明治以降も存在し、その法灯は現在も脈々と受け継がれています。昭和期に真言宗御室派の総本山となり、平成六年（一九九四）にはユネスコの世界文化遺産に登録されています。

以上、二回にわたって総本山仁和寺の歴史をご紹介させていただきましたが、紙幅も限られており、その悠久の歴史のごく一部のみでございます。もっと深く知りたい御方は、ぜひ一度お参りをしてみてください。

家光は当然これを了承し、御所各殿舎は仁和寺へ移築されることになりました。旧紫宸殿は金堂、旧清涼殿は御影堂へと生まれ変わり、さらに五重塔、二王門などが新築されました。正保三年（一六四六）までに及ぶこの寛永の復興により、覚深法親王は仁和寺における「中興の祖」と尊称されています。

回向 檀信徒各家精霊



盂蘭盆総供養法会

8月15日(木)9時~10時 受付8時半~ 於:玉佛堂

永代供養をされている方、お盆行時にお留守をされた方など、
ご参列を希望される方にはお時間までにお位牌をご持参ください

第二十五回

平和の鐘を鳴らそう!

八月十五日正午

於長泉寺 鐘樓門

主催岡山ユネスコ協会



長泉寺 寺子屋 文化講座

9月10日(火)19:00~20:30 於 長泉寺本堂

参加無料・要事前予約 TEL:086-223-7450

参加ご希望の方は、事前にお電話でお申込み下さい。

Vol. 47

薬師信仰とその造形 —岡山の絵画・彫刻作品を中心に—

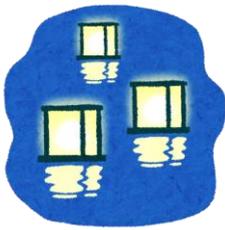
講師:岡崎有紀氏 岡山県立博物館学芸員

灯笼流し

八月十六日十八時

於 西川 下石井公園

灯笼 九百円(当日千円)



毎年恒例の盆行事「灯笼流し」を左記の通り開催いたします。新盆の御方をはじめ、どうぞ皆様にはご来場、ご参拝くださいませ。

将棋クラブ

毎月一回 客殿で開催中
参加無料

■75回目
8月31日(土) 13:30-16:00

■76回目
歩9歩 29日(日) 13:30-16:00 歩

いつも集まったメンバーで楽しくやっています。どなたでもお気軽にご参加ください。香

長泉寺の公式ホームページをぜひご活用下さい

長泉寺 南方

検索

住職のブログ、月行事日程、文化教室のご案内など長泉寺の様々な情報をご覧になれます